

I 診療

▼高度急性期医療の推進

- ・ヘリポートの活用と「京大病院」としての救急医療体制の確立
- ・集中治療室における機能分化
- ・移植医療を支える体制整備

▼標準的医療を基盤とした高度先進医療との両立

- ・難治性疾患への対応と新規治療法の開拓
- ・医師養成等の観点からのCommon Diseases(一般的疾患)の取り入れ
- ・専門性が高い医療の横断的な提供
 - がんセンターの充実、小児医療センター・周産期センターの設立 生活習慣病合同チーム編成 等

▼患者中心の安全で質の高い医療の提供

- ・患者のメンタルな側面からのケアの実施
- ・緩和ケアやホスピスに係る 地域連携の実施
- ・医療安全及び感染対策を支える体制整備

IV 地域貢献・社会貢献

▼関係自治体・地域医療機関との連携

- ・地域の医療機関における機能分担に係る 支援助進
- ・地域医療計画への専門的知識提供による 地域医療への貢献
- ・情報システムを利用した地域医療ネットワークの連携強化
- ・医療安全・感染・がん・救急災害等に係る 医療行政への貢献

▼メディカルスタッフの供給

- ・研修医・専門医育成の在り方の再構築
- ・リーダーとなるべき優秀な人材の育成と他医療機関への供給
- ・情報技術を活用した地域派遣におけるサポート体制の充実

▼地域医療拠点としての役割

- ・がん診療連携拠点病院・小児がん拠点病院としての包括的診療体制の強化
- ・周産期医療体制の機能充実
- ・臨床研究、臨床教育の情報ハブとしての体制の強化

II 研究

▼国際基準による新規医療の開拓

- ・臨床研究総合センターの一層の強化・充実
- ・iPS細胞をはじめとする再生医療への貢献
- ・先端医療機器開発・臨床研究センターによる革新的な医療機器開発の促進

- ・各種臨床試験や疫学的研究の推進

- ・人的・情報のネットワークの確立

▼「研究病院」としての地位確立

- ・臨床研究を推進するための仕組みの構築
 - 限られた病院資源における投資配分の考慮
 - 主体性確保した上での外部資金導入
 - 研究時および臨床応用へ展開するまでの支援
- ・研究のための人材育成 診療業務とのバランス考慮
- ・先端的研究の評価システム・人事制度等の確立

V 国際化

▼「世界に開かれた大学」としての貢献

- ・国際的に活躍できる人材の育成
 - メディカルスタッフの国際交流の推進
- ・病院間交流の促進
 - 現地人材育成への貢献
 - シンポジウムや共同研究の推進
 - 国際貢献のためのノウハウの蓄積
 - 諸外国における病院間交流協定の推進

▼国際展開力の強化

- ・国際水準の臨床研究・医療機器開発の推進拠点としての貢献
 - ライフサイエンス分野の国際産官学連携活動への参画
 - 海外の大学病院・研究機関との連携体制の整備
 - 臨床研究シーズのグローバル展開の推進

III 教育

▼各分野で中核となる人材の育成

- ・優れたメディカルスタッフとして、かつ優秀な教育者及び研究者としての育成
 - 「グローバルスタンダード」に対する 卒前教育への支援
 - 高度先進医療を担う病院としての魅力を活かした専門医育成プログラムの設置
 - 臨床系大学院における研究活動に専念できる環境づくり
 - グローバルなリーダー育成を目標とした教育環境づくり
 - キャリアパスの支援体制整備
- ・各職種によるチーム医療を教育の場に導入
- ・E-Learningや講義のオンデマンド配信等の情報技術の有効活用による臨床研修病院間での連携促進

VI 運営

▼京大病院の担うべき役割の明確化と実践

- ・行動計画や評価制度による展開
- ・医療制度改革への対応と「京大病院らしさ」の追求
 - 「診療」における役割の明確化
 - 医療機能・病棟機能のコンセプトの明確化
 - スタッフ・病床の効率的配置
 - 外来機能への言及

▼組織の盤石化と経営の安定化

- ・メディカルスタッフの処遇と勤務環境の改善
- ・診療組織への戦略的人員配置
- ・ワークライフバランスと男女共同参画の実践
- ・継続的なキャリアパスの実現
- ・事務機能の強化